



# 大野市教育委員会たより

令和元年11月7日発行 第34号

発行 大野市教育委員会教育総務課  
〒912-0086 大野市天神町 1-1  
電話 0779-64-4827 Fax0779-69-9110  
E-mail kyoikusomu@city.fukui-ono.lg.jp

近年、情報化やグローバル化といった社会的変化が、私たちの予測を超えて進展しているなど、学校を取り巻く環境が大きく変化しています。そのような中、大野市教育委員会では、将来を担う子どもたち一人一人が自分に対する「自信」を持って楽しく学校に通い、学力等の充実を図ることができるようにするために、より良い教育環境について、皆さまと一緒に考えていきたいと思っております。ご理解とご協力をお願いいたします。

つきましては、先般、開催いたしました「教育環境に関する意見交換会」の結果概要について、お知らせします。

開催日：10月31日（木）午後7時～9時 場所：乾側小学校体育館  
対象者：乾側地区住民（出席者数14人）  
次第：教育長挨拶、1部 説明「大野市の教育について」、2部 意見交換「大野市の教育環境について」

※以下は、「2部 意見交換」で地区住民の皆さまと意見交換させていただいた『主な内容』です。

※地区住民からの意見を◎、教育委員会の意見を■で表示しています。

- ◎学校再編は必要と思っている。その時期も遅くない方がよい。乾側小は他の学校と比べて、子どもの人数が最も少ない。大きい学校で学ばせてあげたい。再編の方法や時期の構想が現時点であれば、教えて欲しい。  
⇒■今年、約40箇所意見交換会を行い、いろいろな方々から意見を伺うこととしている。来年度から、再編計画を検討していくこととしている。現時点で、再編の構想は持っていない。
- ◎乾側小の子どもの人数はあまりにも少なすぎる。学校を単独で残せる人数ではない。大きい学校の方が小さい学校より、メリットが多いと思う。平成23年頃にも再編の話があったが、未だにこのような状況になっているのは遅いと思う。孫が12月から旧蔵生小へ移転で行くことを楽しみにしていたが、その理由は他の学校の子どもと一緒になれると思っていたからであった。一緒になれないことが分かるのがっかりしていた。一刻も早く、いい方向に持っていて欲しい。  
⇒■教育委員会では、ある程度的人数で子どもたちを教育していく環境が必要であると考えている。学び合いを通じた友だちとの関係はとても大切なことだと思っている。
- ◎学校が再編されると地域が崩壊する。乾側小をなんらかの形、例えば特認校方式などで残して欲しい。子どもと地域とのつながりの場所を残していきたい。地域が崩壊したら、地域行事などでの助け合いがなくなる。子どもを大きい学校で学ばせたいと思うが、そうしなければならぬのであれば、地域の活性化策を考えて欲しい。  
⇒■昔から学校は地域の人が集う所であったと思うが、学校がもともと何のためにあるのかを考えれば、それは子どものためである。子どもが学校でしっかり生活できているかや、保護者が我が子にどのような教育を求めているかを確認していきたい。  
⇒◎英語などによる特認校を目指すなどの検討をして欲しい。市外からも入学してくる子どもがいるかもしれない。児童を増やせる方法を考えて欲しい。
- ◎学校は教育の場である。保護者が中心になって学校をどうしたいのかを考え、それから、地域ではどうかと下りてくるのが良い。その後、地域でバックアップすることがあるのか、もし学校がなくなるのであれば、地域をどうすればいいのかが、後で考えればいいことである。学校関係者がどういう思いなのかを知りたい。  
⇒■子育てのしやすい町でないと駄目だと思う。その面で、安心して通わせられる学校を作っていかなければと思う。  
⇒◎地域は保護者の考えについていくしかない。
- ◎和泉地区の意見交換会では、どのような意見が出たか。  
⇒■和泉地区だけではなく、保護者の一番の心配は登下校の距離と時間、方法である。  
⇒■子どもの数が少ないので大きい学校で学ばせたい気持ちがある一方、通学に対する不安を持っている。また、学校がなくなると地区が寂れてしまうのではないかと考えている方もいる。
- ◎学校再編は全国で検討されているが、ある程度の学校の人数を希望している意見が大半であると思う。  
⇒■ある場所の意見交換会で「保護者の心配は小さいがいっぱいある。それを丁寧に聞いて欲しい」と言われた。「大きい学校へ行きたいけど、小学校1・2年生だと心配である」なども言われている。  
⇒◎地区では孫がいない世帯が多いため、学校再編に関心がない。学校が地域にないと寂しいなという程度である。
- ◎複式学級で困っていることは特段ない。大規模校では得られない経験をしていると思う。乾側小の子は鍛えられているので、いきなり大規模校に入ったとしてもやっていける力は十分に備わっている。

◎再編で地域がギクシャクしているのがネックである。再編に反対、賛成というよりも地域のために学校を残して欲しい。乾側小で6年間満足に学校生活を送らせることが出来た。以前は、大きい中学校へ上がることに不安だったが、今は大丈夫であると思っている。自分の仕事の立場から考えると、たくさん子どもの中で競争しながら備わっていく力とか、子どもが主体的に行っていく力も大きいと最近思うようになった。子どもにとって、小規模校、大規模校、どちらがいいかは言えない。子どもにとってどちらがいいかを考えた時、保護者だけでは難しいので、地域の人も一緒にもう一度最初から考えていった方が良くと思う。

⇒■小中学生のアンケートでは、自分が生活している学校に満足していると答える子がいる。その要因の1つとして、子どもは現在生活している学校の世界（1学年のクラス数やクラスの人数など）しか知らないためであることが挙げられる。

◎先生の友人がいるが、複式学級の方が教育をより高められるということで、複式学級を選んでいる人もいる。複式学級だから駄目とか、たくさん子どもがいるから良いという訳ではないと思う。理想は1クラス10～20人の間が良く、再編で30～40人にはなって欲しくない。複式学級でも良い。乾側小をどうするかということではなく、市全体として小学校の規模を考えて欲しい。乾側小で力を入れている教育は、市全体の宝でもあると思うので、継承して行って欲しい。4、5年かけて、段階を踏みながら再編をして欲しい。乾側小では特徴的な教育をしているので、特認校として残るのが理想と思っている。そうすれば、福井市などから学校へ入学したいと思う子もいると考える。

⇒■昔の学級人数は40～45人だった。国の基準は1学級40人だが、福井県は独自施策で、小学校1～4年生は最大35人、5・6年生は36人、中学校は1年生は30人、2・3年生は32人としている。これを受け、市の学校は20人台の学級が多い。昔より、教職員の目が行き届く教育が出来ている。各学校では、それぞれに応じた教育をしている。15年前からは、教職員だけでなく地域の方と連携した学習も展開している。

◎再編について、みんなが納得できる形になってくれれば良いと思う。

◎孫がもうすぐ小学校に上がるので、早く再編して欲しいと思っている。一番心配なのは、小規模校から大規模校へ行くと不登校になったり、小規模校出身の子が社会人になって引きこもりになったりすることである。大人の社会でも競争があるので、小さい時からの競争は必要である。乾側小が再編せずに、今後ずっと継続したとしても、孫は大きい学校へ入学させると思う。



◎昔、「保育園の時は友だちがたくさんいたのに、なぜ人数が少ない乾側小に行かないといけぬのか、行きたくない」という話を聞いたことがあるので、子どもを中心に考えたら再編した方が良くと思う。

◎小学校で小規模校だった子どもの中学校や高校における不登校の割合は、大野では多いのか。

⇒■そのような統計は取っていない。不登校にはいろいろな要因がある。一概に小規模校が原因であるとは言えない。要因で一番多いのは友人関係である。

◎今後、学校再編はどのように進めるつもりか。

⇒■来年度に、再編計画の見直しの検討を始めたいと思う。見直し（案）を作り、各地区などへ説明に回る予定としている。

◎今日の意見交換会では区民全員が来ていない。今後、アンケートを区民に取る予定はあるか。

⇒■区民全員に取る予定はしていない。意見交換会で直接意見を伺うとともに、言えなかったことや言いにくいことをアンケートで書いていただくこととしている。

⇒◎乾側幼稚園の休園の時は、アンケートを全員に取ったことがある。

⇒■私たちは、何らかの形で直接ご意見をお聞きしたいと考え、意見交換会を開催している。

⇒◎みんなが納得いくようにして欲しい。

⇒■市民全員にアンケートを取る計画はしていない。その代わりに、きめ細かに意見交換会を行うこととしている。

◎これから子どもの入学を予定している保護者が、校区を変更したいと思った場合、どうするのか。無条件で校区を変更することは出来ないのか。

⇒■無条件で校区は変更できない。昼留守家庭や通学距離など変更できる条件がある。

⇒◎乾側地区の保護者で無条件で校区を変更できるのであれば、市街の学校へ変更したい保護者はいると思う。

⇒■一般的に公立学校は校区が決まっていて、人数を把握しながら運営している。

⇒◎合併することを前提に、近い学校（下庄小や有終西小）へ無条件で行けたら良いと思った。

⇒■今後検討しながら考えていかなければならないと思う。

お仕事等でお忙しい中、ご出席いただきました各地区の区長様及び地区住民の皆さま、ありがとうございました。紙面の関係上、割愛している部分がございます。ご了承をお願いします。本日より、大野市ホームページにも掲載を予定しています。

